

コミュニティ・ビジネス指導員のための研修プログラム

CB 総合研究所 細内所長作成

研修時間：3 日間で 24 時間(休憩時間を含む)

研修の目的；コミュニティ・ビジネス（CB）の指導員として、市民、住民のニーズを知り、彼らの立場から地域問題に取り組む手法を修得し、その問題解決の手段である CB についての確にアドバイスができるような指導スキルを身に付けること。

1 日目

9：30～11：10（100分）

・参加者の自己紹介、参加の動機、自分のまちの問題や課題を3分以内で紹介。
一人3分×参加人数25人⇒講師とのやり取りや余裕を見て100分

<休憩 10分>

11：20～12：30（70分）

●講義1：CBとは何か：理論編（PP使用）（70分）

<ランチ>12：30～13：30

13：30～15：00（90分）

●CB事例のビデオ学習（CB基本、地域資源活用、女性起業など各地の先進事例を紹介）

<休憩 15分>

15：15～16：15（60分）

●講義2：CB起業に向けて：立ち上げ編（ワークシート使用）（60分）

CB立ち上げ時の各種診断法について紹介

- ・CBの法人格は？ 社会的企業とは、CBとSBの違い
- ・CB認識度テスト ・CB失敗の要因 ・CB起業セルフチェック
- ・CB度確認シート ・SWOT分析 ・マーケティング

<休憩 15 分>

16 : 30 ~ 17 : 30 (60 分)

- 講義 3 : C B 起業に向けて : 新分野 (環境、福祉) 編 (P P 使用) (60 分)
・ C B の環境分野 ・ C B の福祉分野 ・ 農商工連携など

2 日目

9 : 30 ~ 10 : 50 (80 分)

- 講義 4 : 英国に学ぶ地域再生のカギ、社会的企業 (C B) ~ 日本を中心市街地再生のヒントを探る。英国から何が学べるか。(ビデオ学習、P P 使用)

<休憩 15 分>

11 : 05 ~ 12 : 30 (85 分)

- 講義 5 : 地域資源と I C T の活用による C B (P P 使用) (60 分)
- ここまでの C B 理論のふり返りとまとめ (ふり返しシート使用『C B 起業マニュアル』の 81 ページ) (25 分)

<ランチ> 12 : 30 ~ 13 : 30

13 : 30 ~ 15 : 00 (90 分)

- テキスト『C B 起業マニュアル』使用による合意形成や他者受容の能力を高める (テキストの穴埋め問題を記入一発表・確認、地域に対し「想いを形にする」を記入 (テキスト 50 ページのシナリオ 1 を使用・作成) —そして発表確認)。地域問題に関する共通問題の認識を促す。

<休憩 15 分>

15 : 15 ~ 16 : 35 (80 分)

- テキスト『C B 起業マニュアル』を使用し、テキスト 50 ページで作成したシナリオ 1 をもとに、64 ~ 65 ページの事業企画書を参考にして、自分の事業企画書を 78 ~ 79 ページに作成

<休憩 10 分>

16 : 45 ~ 17 : 30 (45 分)

●各個人が作成した 78～79 ページの事業企画書を全員の前で発表。発表時間は一人 5 分以内×7 人（希望者&講師指名による）

3 日目

9：30～11：00（90 分）

●**ワークショップ 1：個人作業**：テキスト『CB 起業マニュアル』の昨日作成した 50 ページのシナリオ 1 をもとに、シナリオ 2、3、4 の見本を参考にしながら、地域住民が地域の問題解決を CB で起業する立場に立って、起業のシナリオ 2～4 を作成する。以降のワークショップは、いかにして初心者でも簡単に CB の事業企画書を作成することができるか、指導員の立場から指導方法を考えてみる。

<休憩 10 分>

11：10～12：30（80 分）

・チーム（@5 人×5 チーム）に分かれる（講師がランダムにチームを選定）。そしてチーム内の役割分担（リーダー、書記 2 人、時計係、発表者）を決める。

●**ワークショップ 2：チーム作業**：リーダーを中心に、各個人が作成した起業のシナリオ 2～4 をもとにチーム内にて各自発表（@8 分以内×5 人）。その中から一番 CB にふさわしいと思われる事業テーマを選定する（選定した事業テーマをもとに、午後からチームで新しい事業企画書を作成していく）。

<ランチ>12：30～13：30

13：30～15：00（90 分）

●**ワークショップ 3：チーム作業**：午前中のチーム内で一つに絞った事業テーマをもとに新たな事業企画書を作成する。

<休憩 20 分>

15：20～17：00（100 分）

●**発表会**：1 チーム 10 分以内で作成した新しい事業企画書の発表を行う（@15 分×5 チーム）。

・発表ごとに会場から質問を求め、講師がそれに適宜コメント。最後にその中から挙手による CB 事業企画書のベスト 3 を選出する（25 分）。